

第44回委員会
資料第9号

(1)

第43回定例委員会議事録

1. 日時 昭和37年9月6日(木)午後2時20分～4時50分
2. 出席者 正力委員長、石川、有沢委員、井上専任委員、佐々木局長、法貴次長、島村政策課長、藤波管理課長、荒木調査課長、堀助成課長、鈴木アイソトープ課長、井上、企画調査官、林、上滝、田宮、別府、田中、山崎、松友

3. 議題

原子力開発利用長期基本計画について

4. 配布資料

原子力開発利用長期基本計画(オ三次案)

5. 審議、決定及び報告事項

長期基本計画について前回までの検討の結果に基づき作成したオ三次案につき検討を加えた結果、一部修正のうえ委員会内定とし、今後海外への調査団の帰国後それらの結果を繰り上げ、適当な時期に決定することに諒解された。

6. 議事経過

最初オ三次案について全文を朗読。次いで島村政策課長より修正箇所の主要点について、(1)オ針の所は配列を大巾に変えた。(2)燃料の所を3点加えた。(3)計画の内容に燃料の供給計画を2ページにわたりまとめて新しく入れた。(4)炉の所は用語を直した。(5)アイソトープの所は殆んど書き直した。注意のあつた所は大體直した旨説明

——— 2.50 大臣出席 ———

(佐々木) 3ページの(7)は増殖型動力炉だろう

(島村) その通り

(佐々木) 13ページ(1)の非破壊検査用とは？

c111-001-018

(2)

- (田宮) 鋳物のスなどをこわさずに検査するということだ。
- (石川) 4ページの(12)は調査研究でよいか
- (島村) /次では促進するということだったが、匠系用もあるか
どうかかわからない工業用の炉というものもあるかという議論も
あり他と同列に行かないので調査研究とした。
- (有沢) (2)など速にやるという風に多少の相異なることのニュ
アンスをつけたら……
- (島村) 数字を削ったので同じニュアンスになった。(2)は速
かに」にする。
- (石川) もう少し文句を考えてくれ、核融合など調査研究でよい
仲々推進できない
- (有沢) (8)の……経済性の検討のために輸入するのか？
- (田宮) 炉の経済性でなく原子力発電全体の検討というつもりだ
- (有沢) 実験炉よりむしろ動力炉ということか
- (田宮) その通り
- (佐貴) 炉の経済性といつても、その炉大で足りかからない問題もあ
るので、全体に検討する必要がある。
- (石川) それなら性能という風なのがよい
- (島村) 大臣がペイするというので……そこで誤解されるおそ
れがあり、一寸夜えた方がよい。性能とか諸条件とか……
経済性というのはどうも一寸気になる
- (有沢) 4ページ(10)の船の所が気に入る「5年以内」という
のが……
- (正力) 速にするとなお早くなる。運輸省では何の研究もして
ない。なるべくという風にしたらよい
- (佐貴) (5)の「主として」はやめた方がよい
- (藤波) 集中的にやるという風に……例外はありうるというこ
とを……

(3)

- (島村) そうして他と調子を合せておこう
- (石川) 研究はするが、追付かなければ仕様がな
- (島村) ぶは次に計画の内容に入る
- (有沢) 時間的な関係を言葉で入れられないか、一斉にスタート
するようだと仲々大変だ
- (石川) 一番初めの方にも、項目により年次計画をたてるとい
う風にしたらその時に応じてやれる。
- (有沢) それでよい
- (佐々木) 本決りとする時には数字を入れたもので固めるか
- (石川) いやそうしない
- (有沢) 入れるものもあるが、ぶきないものもある
- (石川) 必要に応じてやるという風にしたらよい
- (島村) 7ページの(24)の前に入れよう
- (石川) 7ページ(4)技術を提携するからせこせこというのか、原
料大かわからない、どっちが安いか
- (島村) 開発技術を提供してやるのが安い
- (石川) そうでないこともある。どつた方がよい
- (島村) だろう
- (佐々木) 経済的に輸入するというのはいらない
- (有沢) 積極的な意味だ
- (石川) それならよいが
- (島村) また不足分は海外産出国から輸入するとしてよう
- (島村) 10ページの最後に大学の向題がある。
- (石川) 文部省は京大のさえあればあとは絶対にいらぬとい
うが、局長としてはいいすぎだろう。
- (島村) 文章としてはよいと思うが、従来のイキサツでは、大学
のはやがては必要だが共同管理なら大学でもよいと考えていた
が予算がとてふくれて………京研より小さいものを作ると

(4)

ということも所有はやはり研究所でないといふ……といふ反論もある。

(石川) 原研に支所がおけるというようにしておくといふ

(佐々木) スイミングプールを大学におくという考え方で進んだのが、段々大きくなった。そうすると 例えばアルックヘヴンのが園を作り 30余の大学の共同研究所となっているが、そうなるといふ

(石川) それならよい 附置研と云いたしたそれはおかしい 湯川さんは反対だ 大学だかと思ふようにはできない 必ず非難が出る。

(島村) 去年の計画では 10億をこえなかった。今年は 18億となっている。附帯施設を削れば削つたといふ非難が出る。

(石川) 研究所の支所が置けるという風にしたらよい、小さなものをおくならよいが

(島村) 一応この程度でよいが、支所とするとき「大学における……のために」というのが気になる。

(石川) もう2〜3年たつと教育用の炉ができる。そうしたら大学の中においたらよい そういう時のため、これは生かしておいて、もつと大きいものは支所という考で……

(佐々木) 8ページ 送金 粗精錬を民間にと割切つていふが…… 公社もやるのだ。「主として」といふ風に入れたい。

(島村) そう入れよう。

(石川) 主としてと云つても民間は当分やらない 誰にかいた方がよい

(藤波) たゞ将来は外国のように数パーセントにしたものをまとめて精錬で買いたいという考があるのだ……

(石川) アメリカでも運賃の煩があるので粗鉄を買つていふ。

(5)

すしも藤波の云う通りでない。

(藤波) もう一つは買入値段をきめるとき、粗鉄だと色々変化があり、どれが経費がかかるかわからない。公社が委託で粗精錬する。実費を差引くことができるので…… こういう考も裏にある。

(石川) どちらでも行けるようにしたらよい。

(島村) 民間がやらないから公社がやると云つても全国的に一斉にできない 従つて買上方針を明らかにし、買上値段を発表すれば方々でやるだろう。表面では買うとして実際は公社もやるという方がよい この書き方は一寸強いが……

(石川) 久留島氏は俺に委託してくれと云つていふ。それでいいのではないか

(有沢) 価格次第だ

(島村) 買上げると云えば出てくるだろう

ゲエスチューアーとしては公社もやるということだ

(佐々木) “主として”と入れず、公社は“一部自己生産する他、民間から買入れる”としたらよい

(堀) 一寸ちがうのは石川 委員は鉄石も買上げるといふことだろう

(別府) 原則は、精鉄買上の方が両方にとり合理的だ。

(石川) 何パーセントいくらとしたらよい

(島村) 原則は精鉄がいいに決つていふ

(有沢) 方針としては公社もやるが民間もやるという風にしたらよい。公社のやり方は理事に任せたらよい。

—— (d) の所は一部訂正の上譲承 ——

(島村) アイソトープの所はどうか 11ページの中頃 “行き届んでいふ云々”はどうか

(石川) 争実はそうだが……

(6)

(佐々木) 各分野における研究に……としよう

——次いでアイソトープの箇所を技術的側について訂正

(石川) 支所の問題……研究所のあり方の所に入れてほしい、

国際原子力機構に加入することも大きな問題だ。政策として……

それをどう云い表すかは問題だ。

(有沢) それは方針だ

(島村) 方針の(2)では不十分か

(石川) それならよい

(正力) 今日一応きめるか

(佐々木) 内定する。海外の調査の結果を織込んで最終決定とし

たいが……

(島村) 支所の入れ方……14ページ6行目になお研究所の施

設は逐次整備し、必要に応じ支所を設置するが……としたい

が

—— 詠 承 ——

(3.55 大臣退席)

(佐々木) 12ページ トレーサーなどの所に“等”を入れたい

らよい。

(島村) 燃料公社の所は……

(藤波) 20ページ(a)の加工の所の表現……

方針の所と調子を合せたら……

(島村) 燃料加工の所は訂正する

(坂) 22ページ(d)の所を直したらよい

(石川) 特許問題にふれているか

(島村) ふれてない

(石川) 何か考えたかよい

(島村) 運用面のことは大いにやりたいと云っているが、法律面

で直すことは無理と特許庁では云っている。

(7)

(石川) 何かふれないでいいかということだが……

(島村) 特許庁では今でも例外を作ることは条約違反ばかりでな

く進歩が遅れるといっている。

(石川) 何か頭を使う必要があるのではないかといいことだ。

もう一つ原子力問題については、学者を養って迎え入れるとい

うことを入れたらよい。

(有沢) 試験研究費をもらいたいと云っている。附帯決議にも入

つていない。

—— 以上で本計画を内定 ——

午後 55分 散会